
誕生日

光琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誕生日

【Nコード】

N2784I

【作者名】

光琉

【あらすじ】

銀さん誕生日小説です。が！三日遅れという残念な結果に…。ちよつと土銀要素有りです。次回は間に合うように投稿しますっ！感想をお願いします！

(前書き)

ちよつとB.L要素ありです。無理な人はback!平気!というか
たはそのまま本編へ!

今日は10月10日つと…。ん？10月10日？なーんか忘れてる
ような…。「あ！」と同時に開けられる襖。「死ね。土方コノヤロ
ー。非番だからっていつまで寝てる気ですかい。」「総悟！テメー
勝手に部屋に入ってくんじゃねーよ…。しかも開口一番が死ねかよ
…。」「なんだ。起きてやしたのかイ。チツ。」「なんで舌打ち！
？」「いやー。起きてなかったら首でも絞めて殺せたのになー。と
「テへ。と頭をこずきかわいこぶるが今の土方には逆効果な訳であ
り。「上等だ！！刀を抜けええ！！！」「なーにやってんだ？ト
シ。総悟。」「近藤さん！」「ま、大方また総悟がなんかやつ
たんだろ？ま、トシ早く来ないとメシなくなるからな。」「あ、
分かりました。」「チエー。」「いいながら去る沖田。「さて…どう
するか…。」「今日は10月10日。愛しい銀時の誕生日だ。」「まず、
ケーキを買うのは当然として。お！そうだ。」「ニヤツと笑う土方。
その頃…「あ！銀さん。ちよつと邪魔なんで出掛けといてもらえま
す？」「へ？なんで？」「イロイロあるんですよ。とにかく邪魔な
んで出てってください。あ、でもお酒飲んじや駄目ですよ。」「5
時になるまで帰ってきてきちゃダメアルよ。」「わあーったよ。」「出
ていく銀さん。」「よし！始めるよ！神楽ちゃん。」「命令すんなヨ
駄眼鏡が…。」「ちよ！神楽ちゃん！？」

「ちえー。なんだよ。神楽と新八の奴…。
銀さんだけ仲間はずれですか…。いいもんね。ブラブラしてるか
らー。」「自分の誕生会の準備とも知らず、文句タラタラの銀さん。
しばらく歩いていると向こうから知り合いもとい恋人の土方が歩い
てきた。」「土方あゝ。パフェ奢つて。」「会って一番にそれかよ…。
まあ…いいか。今日ぐらい。」「へ？今日なんかあつたっけ？」「コイ
ツ…自分の誕生日覚えていないのかよ…。でも、神楽達がなにも言
ってないって事は内緒でなんかやってることか…。」「いや。何

にも。で？どうすんだ？行くのか？行かないのか？」「行きます！」
ファミレス内：銀時の目の前にはこのファミレスで一番高いパフェ。
俺は珈琲。もちろんブラックだ。ホントにコイツは美味そうに食う
よな。あ。「銀時。クリームついてるぞ。」「人差し指で拭って食べ
る。「うえ！？／＼／＼／＼」「甘：。「すると、目の前で慌ただしく
パフェを食べ終える銀時。スクツと立ち上がり歩いていってしまふ。
「おい！待てよ。」「俺も代金を払ってすぐに追いかける。

「待ってー！」「やっとのことで追いついた
土方は銀時の手首を掴む。

「どうしたんだ？」

「な、なんでもない！／＼／＼／＼」

「まあ：いいけどよ。」「鈍感な土方君。少しは恥ずかしがってるっ
て気づけよ！／＼／＼／＼」

「もう5時だから万事屋帰るか。」「そ：そうだな！」「スタスタ歩
く。

「もうすぐ銀ちゃん帰って来るアル。用意
はいいかあ：野郎どもー！！！」『おー！！』メンバーは神楽、新
八、お妙、さつちゃん、お登勢さん、キャサリン、そして何故か真
選組の近藤さん、沖田さん、山崎さん。「ちよっ！！！！お前はどん
だけ偉いんだよ！！！！」「黙つとけよ。駄眼鏡が！」「眼鏡を馬
鹿にするなあああ！！！！」「しっ。帰ってきたようですぜい。」「皆
息を飲む。
ガラッ！

『HAPPY BIRTHDAY！銀ちゃん！（さん！）（坂田！）
（旦那！）』たいする銀さんは入口でポカンと口を開けていた。「
誕生日：？俺の？」「銀ちゃん以外に誕生日の人居ないアル。」「
いや、NARUOのナルOとか：」「いーから！僕は銀さんを祝
ってるんです！」「ほら、銀時言うことがあんだろ？」「うん…。
ありがとう！みんな！」

HAPPY BIRTHDAY! 銀さん。
END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2784i/>

誕生日

2010年10月28日08時20分発行